
日本人口学会 第 67 回大会プログラム

2015年6月5日(金)～6月7日(日)
開催校： 椋山女学園大学
会 場： 星が丘キャンパス
〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町 17-3



日本人口学会会長 原 俊彦
大会運営委員長 吉田 良生

大会日程

日程	2015年6月5日(金)	2015年6月6日(土)	2015年6月7日(日)
8:30			8:30- 受付 1階入口前ロビー
9:00		8:30- 受付 1階入口前ロビー	9:00-12:00
9:30		9:30-12:30	企画セッション② 204
10:00		企画セッション① 206	テーマセッション② 206
10:30		テーマセッション① 204	
11:00		自由論題 A 203	自由論題 C 203
11:30		自由論題 B 205	自由論題 D 205
12:00			12:00-13:00 昼休み
12:30	12:30- 受付 1階入口前ロビー	12:30-13:30 昼休み	
13:00			13:00-17:00
13:30		13:30-15:20 会員総会 (開催校挨拶 ~会員総会 ~会長講演)	企画セッション③ 206
14:00			自由論題 E 203
14:30	13:30-16:30 特別セッション 「第5回地方行政のためのGIS チュートリアルセミナー」 206		自由論題 F 204
15:00			自由論題 G 205
15:30		15:30-18:30 シンポジウム 「地域人口は消滅するのか?」 206	
16:00			
16:30			
17:00			
17:30	17:00-18:00 理事会 101		
18:00			
18:30			
19:00		19:00-21:00 懇親会 CAFETERIA F19 (教育学部E棟1階)	
~21:00			

文責：大会企画委員会

職 位	氏 名	所 属
委員長	和田 光平	中央大学
副委員長	黒須 里美	麗澤大学
委 員	大林 千一	帝京大学
同	加藤 彰彦	明治大学
同	釜野 さおり	国立社会保障・人口問題研究所
同	河合 勝彦	名古屋市立大学
同	中澤 港	神戸大学
同	水落 正明	南山大学
同	吉田 良生	椋山女学園大学
幹事	飯塚 健太	中央大学
同	井上 希	青山学院大学

大会前日プログラム 2014年6月5日(金)

13:30~16:30

12:30~ 受付開始 (1階入口前ロビー)

特別セッション

第5回 地方行政のためのGISチュートリアルセミナー

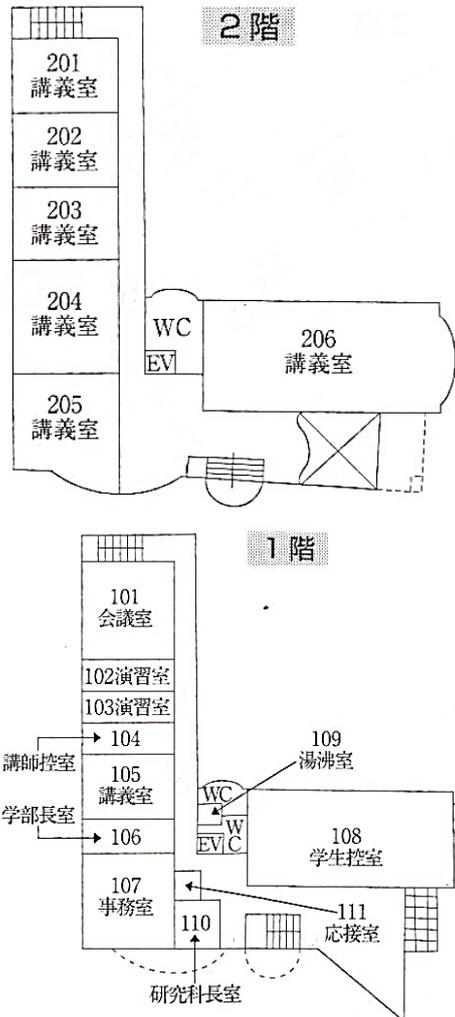
<組織者・座長> 井上 孝 (青山学院大学)

- 1) 小地域統計分析 貴志 匡博 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 2) GISを用いた施設の適正配置の考え方と適用例 鎌田 健司 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 3) 人口減少期のみどり行政 -GISによる空閑地分析- 細江 まゆみ (柏市)
- 4) 極小領域における将来人口推計の可能性 長谷川 普一 (新潟市都市政策部GISセンター)

会場 : 現代マネジメント学部棟 2階 206 講義室

アクセス : <http://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/access/>

星が丘キャンパス建物配置図



大会プログラム 第1日 2015年6月6日(土)

午前の部 9:30~12:30

会場 : 現代マネジメント学部棟
8:30~ 受付開始(1階入口前ロビー)

企画セッション①(2階206講義室) <組織者> 黒須 里美(麗澤大学) ヨーロッパとアジアにおける結婚と再婚: 長期的視点からの国際比較

<座長> 津谷 典子(慶応義塾大学)

<討論者> 斎藤 修(一橋大学) 阿藤 誠(厚生労働統計協会)

- 1) Beyond Malthus: Framework and Achievements of Eurasia Project
Cameron Campbell and James Z. Lee (The Hong Kong University of Science and Technology)
- 2) Similarity in Difference: Marriage in Europe and Asia 1700-1900
Christer Lundh (University of Gothenburg, Sweden) 黒須 里美(麗澤大学)
- 3) Remarriage, Gender, and Rural Households in Europe and Asia 1700-1900
黒須 里美(麗澤大学) Christer Lundh (University of Gothenburg, Sweden)

テーマセッション①(2階204講義室) <組織者・座長> 中澤 港(神戸大学) 人口学教育の現在

- 1) 教養としての人口学授業 本坊(岡部) 恭子(大阪大学)
- 2) 文化と人口構造の接点: 人口人類学 森木 美恵(国際基督教大学)
- 3) 国際協力/国際保健における形式人口学教育の方法 中澤 港(神戸大学)
- 4) 学部におけるアクティブラーニングと大学院間の連携教育 和田 光平(中央大学)
- 5) 将来人口推計方法の普及のために 鈴木 透(国立社会保障・人口問題研究所)
- 6) 英国における人口学教育体験の一例 都築 慎也

自由論題報告 A (2階203講義室)

▽ **A1 健康と死亡** <座長> 稲葉 寿(東京大学)

- 1) 小地域特性を考慮した高齢者の居住地移動と健康状態の関連
中川 雅貴(国立社会保障・人口問題研究所)
- 2) 疾病構造と平均健康期間・平均受療期間の人口学的分析: 1999~2011年
別府 志海(国立社会保障・人口問題研究所) 高橋 重郷(明治大学)
- 3) 日本版死亡データベース(JMD)を用いた死因分析 石井 太(国立社会保障・人口問題研究所)

▽ **A2 地域の少子化** <座長> 高橋 重郷(明治大学)

- 4) 地域の出生率を規定する人口学的要因に関する研究 佐々井 司(福井県立大学)
- 5) 自治体における少子化の背景要因と対策に関する事例分析 工藤 豪(埼玉学園大学)

松田 茂樹（中京大学） 佐々井 司（国立社会保障・人口問題研究所） 高岡 純子（ベネッセ教育総合研究所）

6) 市区町村の少子化対策が出生率に与えた効果の分析・・・松田 茂樹（中京大学）

自由論題報告 B（2階 205 講義室）

▽ **B1 社会政策** <座長> 杉野 元亮（九州共立大学）

- 1) 生活の充足度に関する住民意識調査・・・大塚 友美（日本大学）
- 2) 児童福祉の地域格差について・・・永井 保男（日本社会事業大学）
- 3) 少子化対策と地方自治体の負担・・・増田 幹人（駒澤大学）

▽ **B2 出生行動** <座長> 加藤 彰彦（明治大学）

- 4) 日本における子どもの性別選好：その動向と出生力への影響・・・
守泉 理恵（国立社会保障・人口問題研究所）
- 5) わが国における出生率変動と女性の就業・・・菅 桂太（国立社会保障・人口問題研究所）
- 6) ポスト人口転換期の課題：政策による少子化是正は可能か？・・・佐藤 龍三郎（中央大学）

12：30～13：30 昼休み

会員総会（2階 206 講義室）

- ・ 開催校代表挨拶（13：30～13：40）
- ・ 会員総会（13：40～14：40）
- ・ 会長講演（14：50～15：20）
原 俊彦（札幌市立大学） 「政策科学としての人口学の可能性」

大会プログラム 第1日 2014年6月6日（土）

午後の部 15：30～18：30

公開シンポジウム（2階 206 講義室） <組織者> 吉田 良生（椋山女学園大学） **地域人口は消滅するのか？**

<座長> 原 俊彦（札幌市立大学）

<討論者> 樋口 美雄（慶應義塾大学） 鈴木 透（国立社会保障・人口問題研究所）

- 1) 人口急減に対応する地方創生へのプロセス・・・五十嵐 智嘉子（一般社団法人北海道総合研究調査会）
- 2) 人口減少と地方創生・・・加藤 久和（明治大学）
- 3) 人口減少社会における第2次国土形成計画・・・奥野 信宏（中京大学）

懇親会 (CAFETERIA F19) 19:00~21:00

会場：教育学部 E 棟 1 階

※ 校舎が異なります。

大会プログラム 第 2 日 2015 年 6 月 7 日 (日)
午前の部 9:00~12:00

会場：現代マネジメント学部棟

8:30~ 受付開始 (1 階入口前ロビー)

企画セッション② (2 階 204 講義室) <組織者> 小西 祥子 (東京大学)
少子化時代の生物人口学

<座長> 門司 和彦 (長崎大学)

<討論者> 原 俊彦 (札幌市立大学) 中澤 港 (神戸大学)

- 1) 月経不順の規定要因：生活習慣に注目して・・・・・・・・・・・・・・・・・・
玉置 えみ (立命館大学) 小西 祥子 (東京大学)
- 2) 不妊治療の経験と関連する人口学的、社会経済的、生物学的要因・・・・・・・・・・
小西 祥子 (東京大学) 玉置 えみ (立命館大学)
- 3) 化学物質と妊孕力・・・・・・・・・・・・・・・・・・吉永 淳 (東京大学)
- 4) 日本人男性の精子数の現状はどのようになっているのか？・・・・・・・・・・
岩本 晃明 (国際医療福祉大学病院)
- 5) 社会は誰に産んで欲しいのか -ミクロとマクロの人口ニーズ-・・・・・・・・・・
早乙女 智子 (神奈川県立汐見台病院)

テーマセッション② (2 階 206 講義室) <組織者> 大林 千一 (帝京大学)
国内人口移動統計の拡充と国内人口移動分析

<座長> 松村 迪雄 (元総務省統計研修所)

<討論者> 石川 義孝 (京都大学) 井上 孝 (青山学院大学)

- 1) 我が国の人口移動の現状と集計・公表の拡充 -ニーズに対する総務省統計局の取り組み-
西 千奈美 (総務省統計局)
- 2) 兵庫県における人口移動の変遷と地域政策上の課題・・・・・・・・・・芦谷 恒憲 (兵庫県)
- 3) 兵庫県神戸市および但馬地域の人口変動と将来人口 -小学校区別分析の試み-・・・・・・・・
中川 聡史 (埼玉大学) 貴志 匡博 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 4) 多地域モデルによる都道府県別シミュレーション推計の結果と考察・・・・・・・・・・
小池 司朗 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 5) 捕らえにくい移動をどう捕らえるか -1 年移動率の分析から-・・・・・・・・・・
林 玲子 (国立社会保障・人口問題研究所)

自由論題報告 C (2階 203 講義室)

- ▽ C1 アジア I <座長> 鈴木 透 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 1) 中国少数民族の人口政策 尹 豪 (福岡女子大学)
 - 2) 高齢者貧困リスクの日韓比較分析
渡邊 雄一 (日本貿易振興機構アジア経済研究所) 曹 成虎 (韓国保健社会研究院)
 - 3) フィリピンからの国際労働移動と移民政策 新田目 夏実 (拓殖大学)
- ▽ C2 アジア II <座長> 衣笠 智子 (神戸大学)
- 4) 中国のシルバー産業の需要と供給に関する研究 -2012年北京市調査に基づく
轟 海松 (東京農工大学)
 - 5) 移民は少子化問題を緩和できるか? -香港の事例を通じて- 梁 凌詩 (立命館大学(院))
 - 6) 近年のロシアの人口動態 田畑 朋子 (北海道大学)

自由論題報告 D (2階 205 講義室)

- ▽ D1 歴史人口学 <座長> 川口 洋 (帝塚山大学)
- 1) 近世日本における都市(宿場町)の経済と人口 高橋 美由紀 (立正大学)
 - 2) 日本の年齢別人口統計発達史 廣嶋 清志 (島根大学)
 - 3) 水島府県別生命表における刊行経緯, 方法の変遷と生命表精度に関する認識
逢見 憲一 (国立保健医療科学院生涯健康研究部)
- ▽ D2 就業と労働力 I <座長> 水落 正明 (南山大学)
- 4) 母親の非典型時間帯労働と子どもに対する投資への影響 大石 亜希子 (千葉大学)
 - 5) 日本人男女の就業時間: 現実と希望のミスマッチ 津谷 典子 (慶應義塾大学)
 - 6) 農家における農業労働力雇用と国際人口移動 小島 宏 (早稲田大学)

12:00~13:00 昼休み

大会プログラム 第2日 2014年6月7日(日)
午後の部 13:00~17:00

- 企画セッション③ (2階 206 講義室) <組織者・座長> 河合 勝彦 (名古屋市立大学)
オープンなネットワーク時代の人口学
~ビッグデータ、オープンデータ、そしてオープンなデータ分析とシミュレーション~
<討論者> 白松 俊 (名古屋工業大学) 細井 真人 (大阪経済大学)
- 1) 貢献者ランクと貢献者数の人口比に基づく OpenStreetMap のコミュニティ活動の分析
早川 知道 (名古屋工業大学)

- 2) オープンデータとビッグデータ -データ・フォーマットと人口経済学への応用-
 櫻井 雄大 (桃山学院大学)
- 3) オープンなネットワーク時代の人口データ分析とシミュレーション
 河合 勝彦 (名古屋市立大学)

自由論題報告 E (2 階 203 講義室)

▽ **E1 就業と労働力Ⅱ** <座長> 魚住 明代 (城西国際大学)

- 1) 妻の就業と育児支援 -個人内変動と個人間変動の検討-
 余田 翔平 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 2) ジェンダーの視点からの育児休業制度の再考 -フランス・日本の女性育児休業取得者の比較を通して-
 藤野 敦子 (京都産業大学)
- 3) 日本における女性の就業状態別出生率
 松倉 力也 (日本大学) 森木 美恵 (国際基督教大学)

▽ **E2 アジアⅢ** <座長> 可部 繁三郎 (日本経済研究センター)

- 4) ラオス南部水田農村の若者出稼ぎと村との関係
 丹羽 孝仁 (埼玉大学) 中川 聡史 (埼玉大学)
- 5) ラオス南部水田農村の人口動態率と国際人口移動 高橋 眞一 (新潟産業大学)
- 6) 家系図復元調査によるラオス南部水田農村の結婚と出生力 西本 太 (長崎大学)

自由論題報告 F (2 階 204 講義室)

▽ **F1 人口統計** <座長> 岡田 豊 (みずほ総合研究所)

- 1) 平成 27 年国勢調査の実施 -ICT を活用した世界最大規模のオンライン調査-
 保高 博之 (総務省統計局)
- 2) シェアハウスに住む世帯の最近の状況 西 文彦 (総務省統計研修所)
- 3) 世帯構造と所得格差の変化と人口の推移 -都道府県別データに基づく分析-
 金子 能宏 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 4) 市区町村別年齢別登録人口データの最近の公表状況 山田 茂 (国士舘大学)

▽ **F2 地域人口** <座長> 阿部 隆 (東北大学(院))

- 5) 地域別人口性比の特徴 坂井 博通 (埼玉県立大学)
- 6) 孤立的高齢世帯の地域分布 -2008 年から 2013 年の変化- 丸山 洋平 (福井県立大学)
- 7) 東京圏郊外第 3 世代の居住地分布と世代交代 藤井 多希子 (政策人口研究所)
- 8) 英語圏諸国との比較からみた社人研の地域別将来推計人口の誤差
 山内 昌和 (国立社会保障・人口問題研究所) 小池 司朗 (国立社会保障・人口問題研究所)

自由論題報告 G (2 階 205 講義室)

▽ G1 結婚 I <座長> 武井 勲 (日本大学)

- 1) 同棲の社会的要因：2008 と 2010 年のデータを用いて・・・・・・・・・・嵐 理恵子
- 2) 日本の農家男子の結婚難 -2002 年就業構造基本調査による分析-・・・・・・・・・・
西村 教子 (鳥取環境大学) 仙田 徹志 (京都大学)
- 3) 女子大学生の男女交際に影響を与える要因分析・・・・・・・・・・前田 正子 (甲南大学)

▽ G2 結婚 II <座長> 松浦 司 (中央大学)

- 4) 日本の夫婦における結婚の幸福と子供・・・・・・・・・・吉田 千鶴 (関東学院大学)
- 5) 未婚者の結婚願望に関する分析・・・・・・・・・・西村 智 (関西学院大学)
- 6) 配偶者選択仲介行動とその変化に関する分析・・・・・・・・・・永瀬 伸子 (お茶の水女子大学)

連絡事項

【参加手続】

・参加費(大会報告要旨集代含む)および懇親会費は5月30日(土)必着で、下記銀行口座に事前にお振り込み下さい。事前支払いの場合、当日払いより割引された額が適用され、一般会員参加費は4,000円、懇親会費は4,000円(合計8,000円)です。

学生会員は、参加費3,000円、懇親会費2,000円(合計5,000円)となります。

5月30日以降は下記口座への送金はおこなわないでください。

参加費・懇親会費払込先(5月30日締め切り)

◆三菱東京UFJ銀行

店名(店番)：星ヶ丘支店(ホシガオカシテン)

預金種目：普通

口座番号：0212147

口座名：ジンコウガツカイ ヨシダヨシオ

・5月30日までに送金できなかった場合は、大会当日受付にお支払いください。その場合は、参加費5,000円、懇親会費5,000円(学生会員は参加費4,000円、懇親会費3,000円)となります。釣り銭の要らないようにご用意ください。

・海外在住の参加予定者の方は、事前支払いによる送金手数料が高額になりますので当日支払い(日本円使用)で結構です。この場合の参加費および懇親会費は、事前支払いの場合と同額とさせていただきます。

・大会報告要旨集は大会当日、受付でお渡しします。大会に欠席の予定で要旨集だけをご希望の方は、大会幹事(水野英雄：hmizuno@sugiyama-u.ac.jp)あて電子メールでご連絡の上、代金2,500円(送料を含む)を上記口座へ締め切り日までにお振り込みください。後日郵送致します。

・事前に振り込まれた参加費や懇親会費は、ご欠席の場合でも返金いたしかねます。ただし要旨集は後日郵送させていただきます。

・非会員で傍聴をご希望の方は、受付に申し出てください。一般非会員の方の参加費は一日あたり2,000円、学生非会員の方は1,000円(いずれも大会報告要旨集代金を含まず)です。

・非会員で大会報告要旨集を希望される方は一冊1,500円で販売いたします。

・大会参加受付は、6月6日(土)・7日(日)ともに8時30分からです。受付は現代マネジメント学部棟1階ロビーにて行います。

・大会前日(6月5日)の特別セッション「第5回地方行政のためのGISチュートリアルセミナー」は、おもに自治体職員の方々を対象としたセミナーですが、会員の積極的な参加を期待します。このセミナーは参加費無料です。

【研究報告者の方々へ】

・自由論題の報告は、1発表あたり報告15分、質疑応答は10分、合計25分です。企画セッションとテーマセッションに関しては、組織者に時間配分を一任していますので、組織者の指示に従

ってください。

・大会当日資料を配布される場合は、テーマセッションおよび企画セッションは70部程度、自由論題は50部程度を目安に各自で印刷の上、ご持参ください。持参された資料は、報告前に会場係にお渡しください。配布資料の印刷・コピーは開催校や大会事務局では一切お引き受けいたしかねますので、ご了承ください。

・各会場にPCおよびプロジェクターを用意いたします。パワーポイントないしPDFを利用される方は、セッション開始前に会場PC(OSはWindows7)にUSBメモリーにより(わかりやすい名前をつけた)ファイルをコピーして、デスクトップ上に保存しておいてください。自由論題報告においては、原則として会場据え付けのPCを用いることとして、持参のパソコンの使用はご遠慮下さい。特別の事情がある場合は事前にご相談ください。企画セッション、テーマセッションに関しては組織者の指示に従ってください。

【昼食】

・キャンパスと地下鉄「星ヶ丘」駅の周辺に飲食店が営業していますのでご利用下さい。なお、星ヶ丘キャンパス内の飲食には、CAFETERIA F19(教育学部E棟1階)が(6月6日(土)10時30分～17時営業のみ)、学生談話室(現代マネジメント学部棟1階)は6月6日(土)・7日(日)などがございます。当日、案内も出しますのご利用ください。また、5日(金)は上記の施設以外にも、キャンパス内にある食堂、購買部等が利用できます。

【懇親会】

・6月6日(土)19時から、CAFETERIA F19(教育学部E棟1階)にて懇親会を開催いたします(場所は「キャンパスマップ」を参照下さい)。懇親会参加予定の方は、事前に前記の口座へ参加費とともに懇親会費をお振り込みください。非会員の懇親会参加費は5,000円(学生は4,000円)とさせていただきます。

【その他の注意事項】

- ・会員控室以外の教室内での飲食は禁止となっておりますので、よろしくご協力下さい。
- ・男性用トイレは1階、4階、5階にあります。(2階と3階は女性用トイレのみです。ご注意ください。)
- ・宿泊施設は各自ご予約ください。
- ・来客用の駐車場は利用できません。
- ・大学内は禁煙ですが、現代マネジメント学部棟1階外側のみ喫煙が可能です。喫煙については、当日の掲示板をご参照ください。
- ・大会期間中、大会運営本部は現代マネジメント学部棟1階に設営されます。
- ・本大会では手荷物の保管サービスはいたしません。
- ・期間中の大会本部への連絡は以下にお願いいたします：

E-mail : hmizuno@sugiyama-u.ac.jp

会場案内

【会場】

・会場は相山女学園大学星が丘キャンパスの現代マネジメント学部棟（〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3）です。懇親会の会場はCAFETERIA F19（教育学部E棟1階、キャンパスマップ参照）です。

【星が丘キャンパスへのアクセス】

・星が丘キャンパスマップを下記に掲げます。または下記のウェブサイトを参照してください。

相山女学園大学ホームページ <http://www.sugiyama-u.ac.jp/>

交通アクセス <http://www.sugiyama-u.ac.jp/sougou/access.html>

※名古屋駅より地下鉄東山線にて約20分、「星ヶ丘」下車、6番出口より左へ徒歩5分

